

3月定例会

● 予算・条例・人事……………2

● 臨時議会……………3

● 11人が一般質問……………4
5
6
7

やまがた 議会 だより

● 4年間の議員
活動を省みて……………8
9

● みなさんと議会……………10



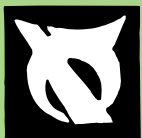
保育園入園式

少し緊張した顔で母に手を引かれて保育園の門をくぐる。遊んでくれる友達大勢できるといいな。



小学校入学式

父母、先生、来賓が見守るなか上級生とご対面、一年生です仲良く願います。今年は86名みんな良い子、未来が楽しみです。



平成18年4月21日

No.76

3月定例会

発行 〒390-1301 長野県山形村議会
☎0263-98-3111(代表 原宏見)
FAX0263-98-3078
編集 山形村議会広報委員会
印刷 信州印刷KK

平成18年第1回定例議会

自立4年目超緊縮予算

施設使用料・ごみ袋値上げへ

平成18年第1回定例議会は、3月1日から10日までの10日間の会期で開催された。村長提出の平成18年度予算案8件、17年度補正予算案7件、条例改正14件、一部事務組合規約変更3件、人事案件3件など39議案を審議。いずれも原案のとおり可決した。

村長の施政方針演説を受けて、一般質問には11人が立ち村政課題を質問した。意見書は、最低賃金の引き上げを求めること等3件を決議、政府に提出した。

18年度予算

全会計で55億2千9百36万6千円

(単位：千円)

会計名	本年度予算	前年度予算	比較	
一般会計	2,824,805	2,802,833	21,972	
霊園事業特別会計	87,454	74,681	12,773	
国民健康保険特別会計	626,474	573,508	52,966	
老人保健医療特別会計	743,540	671,792	71,748	
介護保険特別会計	469,711	406,126	63,585	
清水高原簡易水道特別会計	14,381	15,235	854	
下水道事業特別会計	472,709	476,873	4,164	
水道事業会計	収益的収支	201,953	207,766	5,813
	資本的支出	88,339	108,034	19,695
合計	5,529,366	5,336,848	192,518	

第1回定例議会は、村議会議員選挙をひかえ例年より10日余り早い開会となった。

この定例議会は、新年度予算を定める重要な議会と位置づけられている。自立4年目を迎え、地方交付税が減額され厳しい予算となった。

一般会計では、公共施設使用料の引き上げ、ごみ袋代の値上げを行い歳入確保に村民負担を求めることになった。

歳出では、小学校南側に屋外運動場を設置、明治屋線郵便局東の県道交差点改良工事が計上された。高齢者福祉対策充実に向け地域包括支援センターが設置される。

特別会計では、霊園事業が19年度分譲に向け進められる。

国民健康保険は、医療給付費の急増に伴い税率改正がさけられない。所得確定を待つ税率、予算の見直しがされる。

水道事業会計は、松塩水道用水受け入れのため第5次拡張工事が始まる。

3月定例議会17年度補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	予算総額	
一般会計	5,578	3,023,889	
霊園事業特別会計	23,560	51,935	
国民健康保険特別会計	30,537	718,712	
介護保険特別会計	618	414,669	
清水高原簡易水道特別会計	749	16,891	
下水道事業特別会計	2,349	473,849	
水道事業会計	収益的収支	260	208,026
	資本的収入	554	3,293
	資本的支出	3,259	100,955

条例改正

トレンセン等の公共施設使用料の引き上げに関する条例6件、介護保険条例、一般職の職員の給与条例、非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例等14件の条例の一部が、賛成多数で可決された。

意見書

出資法の上限金利引き下げ等法律の改正を求める意見書

最低賃金の引き上げを求める意見書

パート労働者の均等待遇を求める意見書

以上3件を決議、政府に意見書を提出した。

人事

人事擁護委員候補者

中大池区の上條邦衛氏

(64歳)を推せん

監査委員

下大池区の小林かつ代氏(61歳)の選任に同意

固定資産評価審査委員

上大池区の中村義一氏(79歳)の再任に同意

臨時議会

乳幼児医療給付を

就学前までに

3月30日開催の臨時議会、乳幼児医療給付金条例の改正と西山なろう公園整備事業の明許繰越の提案がされ原案どおり可決した。

乳幼児医療給付金条例の改正は県の補助金要綱の改正に伴う村の条例改正で、通院も就学前まで

が、冬期のため、芝張り、植栽、木橋などの分、1億78万円を繰り越しに。

陳謝

竹野入恒夫議員

給付の対象にし、入院・通院も所得制限をなしにした。入院給付は平成15年7月から就学前までになつてきた。村は県の制度に上乗せして所得制限なしで実施してきていた。なろう公園整備事業は昨年12月契約議決した

竹野入恒夫議員は3月8日に行われた3月定例会一般質問の中で、スカイランドきよみずの利用について、個人のプライバシーに及ぶ不適切な発言をした。

このことについて選挙後の30日に行われた臨時議会の本会議で本人から

陳謝の発言があった。不適切発言については事実関係が明らかにされたのが、3月定例会本会議終了後の全協で、村長の指摘に適切であった事を自ら認めた。

録画の再放送については、本人から問題部分削除の申し出を受けた議長は、閉会中の事なので、議長判断でカットして放映したものの、説明のないカットに村内から抗議の声があがった。またスカイランドきよみずの支配

芝張りを待つマレットゴルフ場



経費節減のため

議会だよりは村広報に統合

昭和六十二年二月、議会だより第1号が発刊された。

発刊に当たって当時の村会議長沖津勉さんは、議会の活動状況を報告し、村政に対する関心を深める一助になればと発刊の意義を述べている。

以後定例議会ごとに、年4回発行され、今回で76号となり、19年間継続発行された。

編集には無経験の議員ばかりで、講師を招いて編集の手ほどきを受け、議員手づくりの議会だより予算・決算など村の広報や館報と重複することもありました。

村の財政状況厳しく、経費節減のため、議会独自の発行は今号を以て終了し、次号から広報に統合することにしました。

発行に尽力された先輩議員、投稿された村民の皆様、愛読された村民皆様に感謝いたします。

乳幼児矯正めがね 購入補助が国の制度に

乳幼児弱視、斜視等矯正の治療用めがね等の購入費が健康保険の療養費として9歳まで支払われる事になった。

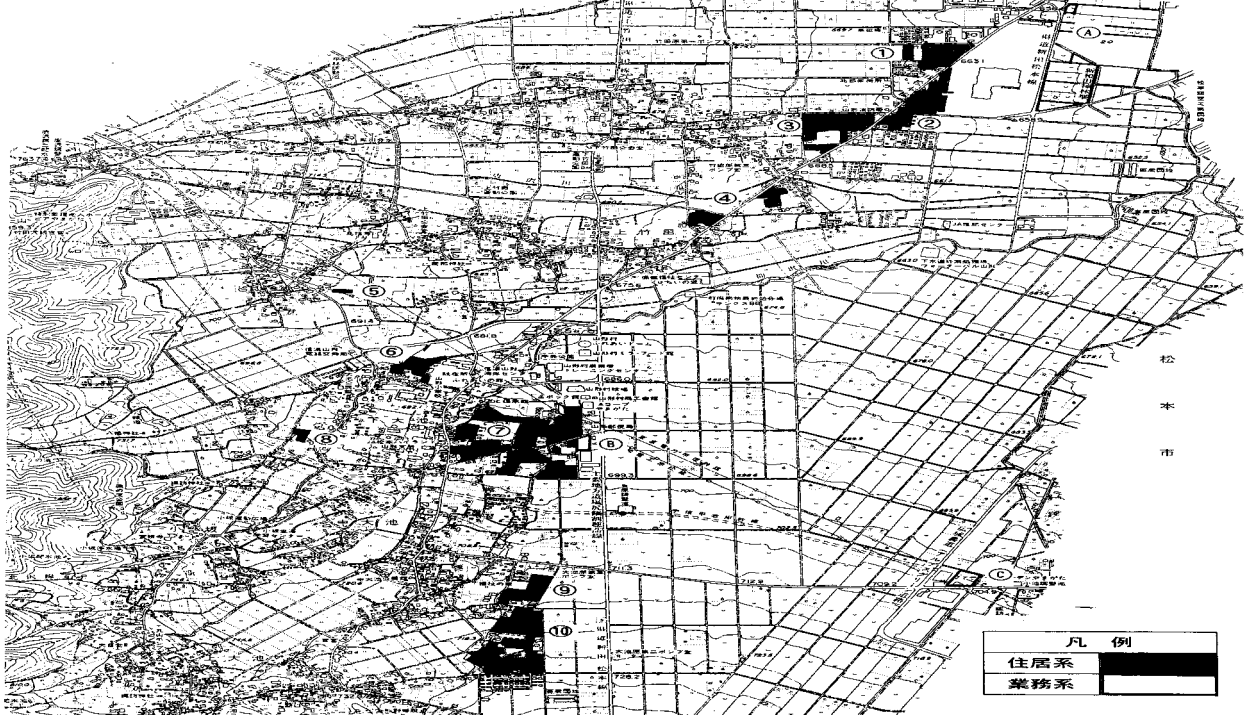
村は平成12年から、村の独自施策として満6歳まで、治療用めがねの購入に補助をしてきたもの。その補助金交付要綱は廃止になった。この間の村の制度の利用者は24人、31件、7人が2回利用した。その他では、土地利用計画の見直し「水道水源対策」で報告があった。

全協での報告事項

人からは不適切発言に対して、「捏造問題等」として、回答書請求付きの抗議文が議長宛に届いた。議会は本人が直接謝罪に出向く事とした。

議会日誌

1月	5日	第1回臨時議会
6日	村役職員新年会	
9日	消防団出初式	
17日	山ノ神祭	
27日	総務建水委員会	
2月	5日	岩手県山形村から表敬訪問 総務建水委員会対応
7日	鉢盛組合議会	
9日	福祉経済委員会 小学校大改造工事完了祝賀会	
17日	議会運営委員会	
21日	ごみ減量を考える会	
26日	一般質問締め切り	
3月	1日	議会開会
2日	第1小委員会 総務建水委員会	
6日	第2小委員会 福祉経済委員会	
8日	一般質問	
10日	議会閉会	
16日	議会運営委員会	
18日	小学校卒業式	
24日	保育園卒園式	
30日	臨時議会	



新しく示された土地利用計画図

そこを聞きました

一般質問

3月定例会では8日に11人が村政全般をたずねました。

土地利用計画の見直しは上條重幸議員 村長 計画の全般について行う

- Q** 平成8年に策定した土地利用計画は、今年度3月末までに見直しを行う予定であるとしているがどの様な見直し、検討を行うのか。
- A** 村長 現状の課題整理を行い、土地利用計画区域、運用方法など計画の全般について見直しをする。検討結果、現地視察を踏まえ、新たな土地利用計画の策定を行う。
- Q** 生活環境等が良くなり山形村に住居を求めてくる人、将来の人口等をどの様に見ているか。
- A** 村長 山形村においては、近隣市町村へ通勤の利便がよいことなどから、引き続き住宅地の需要が多く、人口は今後も増加傾向にある。
- Q** 区域外利用も、増加傾向にあるが、周りの反応と村長の考えは。
- A** 村長 土地利用計画区域外の開発は、やむを得ない事情もあり委員会において個々に周囲の利用状況を勘案し、適正な土地利用の推進を行いたい。
- Q** 広々とした農村風景、土地利用面からは。
- A** 村長 美しい農村風景は村の貴重な財産である。今後も用途の混在が生じないよう、調和の取れた土地利用を推進する。
- ほかに、松本市との分水協定について質問しました。

各種滞納金の徴収はどのようにしているか

百瀬 洪一郎議員

村長 職員一丸となって取り組んでいる

- Q** 村民税や分担金、使用料などの滞納額が増加し保育料や給食費なども未納があり徴収に苦労しているようですが期限までに納税した善良なる村民との間に重大な不公平が生ずることになります。滞納金の未納対策はどの様にしているか。
- A** 村長 税務課の職員中心に各課から協力していただき、職員一丸となって滞納整理に努めている。月2回8時迄夜間窓口開設、電話での催促をしている。
- Q** 村民税の滞納者は何人か。また、個人の村民税・固定資産税の悪質な滞納者には法的に財産の差し押さえをして整理をする考えはないか。
- A** 村長 村民税の滞納者百54人、固定資産税百24人、軽自動車税57人、国保税百18世帯である。全体の滞納額は5千6百23万7千円ある。未納対策を強化したい。
- Q** 保育料、給食費などの未納対策として、伊那市などは、保護者に連帯保証人付きの誓約書、確認書を提出させているようだがそのような考えはないか。
- A** 村長 今後の参考にしたい。

そこを聞きました

行政の不祥事は大丈夫か 唐沢完治議員

村長 仕事の「大原則」を指導している

Q 行政の不祥事が隣の市町で多発しているが、村はどのような職員教育をしているか。

A 村長 「報告、連絡、相談、記録」の徹底と「目配り、気配り、心配り」を指示している。また県の教育や研修会への参加及び職制を通して庁内学習をしている。

C 民間では「5S、5W1H、P.D.C.」等の企業内教育を行っている。村の職員教育の重要性についてアピー

ルをした。さらにこの質問が「村民は職員の行動を逐一見ているのだ」との忠告にしたかった。

Q 1月15日を三九郎の日として学校を休日にできないか。地域の文化を守る事は大切だ。

A 教育長 週の途中に休日を入れる事は至難。史談会等の中で三

九郎の実施方法を研究してほしい。

C 私がこの質問をした同じ日に偶然にも松本市議会で、牛山輝雄議員が全く同一の一般質問をした。この答弁も私への答弁とほぼ同一であった。伝統行事の現状を危くし、法の再改正を迫る必要を強く感じた。

生ごみ処理機の普及はどの位か 竹野入恒夫議員

Q 1、生ごみ処理機について

(1) 生ごみ処理機購入に、補助金を出しているが、どの位の生ごみ減量化の目標を持っているのか。

(2) 補助金は、何年度から対象にして、何台山形村に普及しているのか。

A 村長 (1) については、平成15年3月に見直し策定されました。「山形村ごみ処理基本計画」では、家庭系（収集ごみ）についての減量化

目標を、「平成17年度以降は一定推移する」

(2) については、平成10年から補助金制度がはじまり本年2月末で、「生ごみ処理機202台、枝粉砕機17台」の実績。

Q 2、可燃ごみについて

(1) 松本市では可燃ごみの分析をした結果、可燃物の大半を占める紙類が47・1%（紙くず等も含む）のりサイクルについて検討をはじめたが、山

政策評価の実施を 百瀬 脩議員

村長 検討したい

Q 政策評価制度は、効率的で質の高い行政の実現、成果重視の行

形村の分析は、リサイクルの考えは。

A 村長 「分析」は特にやっていない。古紙リサイクルも定着しつつある。「レシート、メモ用紙等」の小さな紙類も、紙袋等にいられて出すように生涯カレンダーに掲載している。

その他に職員提案・役職定年・人事評価・スカイランドきよみずの経営状況について質問しました。

政への転換、住民に対する行政の説明責任の柱の一つとして導入するもので、村でも今後実施するつもりはないか。

A 村長 質の高いサービスを効果的、効率的に提供していくことが求められています。そのために政策評価が必要だと思われませんが、村では内部評価を実施しており、この方向は続けていきたい。その上に政策評価は、村民に対する説明責任の問題もあり、良い方向を検討したい。

Q 村では、実施計画や予算査定段階で事前評価をしており、施策や事業を実行していますが、その結果の事後評価はあまりされていない。今後の対応は。

A 村長 限られた予算を有効に活用するなかで、政策評価制度は取り入れていかなければいけないと思う。

その他に「CAPの実施」について質問しました。

山形小の大規模改修は

大池俊子議員

教育長 可能な限り木材を使用

Q 4年余に亘る山形小の大規模改修工事、この1月に完了した。エレベーターの設置、完全バリアフリー化になった。H16年より30人学級、H17年には、車椅子の児童2人が入学できた。校長先生や児童会長も木のぬくもりや障害児にもやさしい学校に感謝の言葉を述べている。この工事で

どこに配慮して進めたか。
A 教育長 安全安心の校舎づくりをしたということ、可能な限り木材を使用した。

Q 保育園保護者総会での、手作りスライドを用いて、ともに歩もう、自律を据えた学級・地域づくりの担当教師の話には感動した。障害児にやさしい学校が県下の周辺にどの位あるか。
A 教育長 この周辺の学校はない。

Q 障害児学級の取り組みで、学校全体の教師集団の意識の向上が感じられるが、住みよい村づくりのための今後の方針は。
A 教育長 「生涯学習基本計画」「男女共同参画計画」「次世代育成支援行動計画」をもとに



煙突を取り除いてすっきりした小学校南校舎の屋根

住みよい村づくりを実施している。
他に農産加工室のあり方について質問しました。

勤労者施策「協働」の村づくり

上 條 智佐雄議員

村長 総合窓口、専門職員は置かない

Q 村の個人村民税納入者は約4千人。うち勤労者（村外勤めのサラリーマン含む）は半分の2千人。総額2億5千

万円の68%、1億7千万円を勤労者が納めている。財政面で勤労者に支えられている面は大きい。かつての「勤労協」のような組織の再編や、勤労者施策は？

A 村長 村独自の施策はないが、広域で財団法人塩尻筑南勤労者サービスセンターがある。村の加入42事業所、百56人。加入率が他の地区と比べ低いようだが、福利厚生事業に当たっている。組織の再編は行政が音頭を取ってはしない。勤労者から自発的に出れば……相談には乗る。

Q 自立3年経過、「協働」の村づくり。主としてボランティア活動を進めるために、総合相談窓口、専門職員の配属はできないか。
A 村長 行政側の窓



議員たちの花だん作り

口問題は、庁内研究チームを立ち上げているが、従来通り、各担当課が直接柔軟に対応。専門職員の配属はしない。

第2棟、供用開始いつ

百瀬厚美議員

村長 3月2日だ。より減量を

Q 焼却灰の資源化はどこまで、サンクスBB第2棟の初投入日は。
A 村長 クリーンでH15年より「溶融化」と「セメント化」の研究、検討中だ。実現すれば現在の約3.3倍の延命化ができる。サンクスBB第2棟は3月2日が初投入日、第1棟は2月27日で完了し、1カ月を残しほぼ計画通りだった。

Q 学校5日制の理念がくずれていないか。
A 教育長 学校・家庭・地域社会が協力して、子どもに社会体験や自然体験の機会をふやし豊かな人間性やたくましく生きる力を育むこと。

他に「農業者トレーニングセンター」を一般村民や、勤労者に親しまれる名前に替えられないかを質問しました。

Q 時数の減少は学力低下に連動と思うが。
A 教育長 5日制は「生きる力」を大切に。時数を減らしてまで三者の教育力に期待し出発した。テスト点下降も予想の範囲、学力低下が事実となり保護者中心に声高となつて、文化省自体も揺れている状態だ。教育現場では限られた時間で、学力低下問題にどう対応するか重い課題だ。

Q 「ゆとり」がないが。
A 教育長 帰宅後課外活動で忙しいのが現実。家で親が子どもとどう係わるかがポイント。

そこを聞きました

一般質問

外出支援サービスの利用者は 高山秀子議員

村長 福祉バスの利用を

交通弱者対策は

Q NPO法人が行う
福祉輸送サービスの

A 対象者、利用料、などは
村長 利用できる
のは身体障害者手帳

保持者。要介護、要支援者。人工透析者や単独歩行困難者などで登録会員となり、数日前に予約し、利用料はタクシー料金のとおむね半額を目安。

Q 村独自の外出支援サービスの利用者は利用できるのか。

A 村長 福祉バスを利用してもらう。

Q 福祉バスの運行は変えられるのか。

A 村長 要望を聞きながら検討していきたい。

Q 県道の歩道について
県道新田松本線の

臨空工業団地から殿までの間の自歩道設計計画は具体化されているか。

A 村長 松本建設事務所への確認では「必要性、緊急性の高い所から整備を検討する」というもの。

Q 総務建水委員会で検討する事になっている。

A 他に「村のホームページで、新しいデータとの入れ替えを、例規集の掲載を」「村長の政治姿勢」について質問した。

唐沢の流量が皆無に等しい 清沢善人議員

村長 降水量が前年の45%

Q 両竹田に流れる唐沢川の水が皆無に等しい。唐沢川の水を水道水に取り入れることになったとき、沿線住民が不自由をきたさない事を条件にしたはず。又あの川は防災用水としての役目

もしており火災でもあつたらどうするのか。唐沢川の水を全部取り入れているのではないか。又松本市との分水協定日15tの量の半分も使っていないと聞く。契約量だけ水道水としてとり入れたら

もしており火災でもあつたらどうするのか。唐沢川の水を全部取り入れているのではないか。又松本市との分水協定日15tの量の半分も使っていないと聞く。契約量だけ水道水としてとり入れたら

自歩道が必要な県道新田松本線



どうか。

A 村長 昨年は降水量が少なく年間633mmと前年の45%の小雨でした。秋から唐沢川の流量

も細くなり冬期間の取水はどうにか確保する常態でした。松本市との分水協定どりの水を水道水へとの事ですが、平成3年の分水協議の際将来の不足見込み水量で計画しておりますが、増加要因とは逆に節水機器の普及料金の負担増、節水意識の向上など計画分水水量どおりになっていないのが実情であります。

他に道路整備について・農道での駐車是件・選挙投票所減の件・アメシロ駆除について質問しました。

水道分水協定の期限が切れるが 原宏見議員

村長 新水源は松塩用水に

Q 松本市から受け入れてる上水道分水協定の契約期限が、まもなく切れるが、更新の協議はどのように進められているか。

A 村長 松本市から

の分水は、人口の増加に伴い水需要が増加することが見込まれるが新たな水源開発が困難であるため平成3年7月松本市に分水の依頼をした。その年の10月松本市から分水を承認する旨の通知があり、平成6年11月分水協定を締結した。

平成8年8月から分水が開始され10年となり、協定期限は、本年3月31日までとなっている。

分水以後村内に新たな水源を調査したが新水源の確保は困難と判断し、新水源を松塩用水に求めることにし、松本市・塩尻市・松塩用水供給事業関係部所と協議している。この協議と並行し、新水源の施設整備が整うまでの間分水延長を依頼している。

Q 上水道第5次拡張工事の計画概要を説明されたい。

A 村長 松本市からの分水の配水区域を拡大する計画。平成18年度から3カ年計画で、概算事業費約4億円。

4年間の議員活動を省みて

感謝と今後に期待

掲載は議席順

無我夢中の4年間 森井 実

村民の方々を始めとして村当局には大変お世話になりました、長い様に思われた議員活動も早いもので4年の任期が過ぎようとしています。議員



活動の初めての取組みが村の将来が大きく左右される合併問題でした。講演会への出席、本やインターネット等で勉強、村

では自立宣言これもインターネットで我が村の自立はこれで良いのか、下水内郡栄村へ3人の議員で調査に行く、その他4年間結婚問題の研究をした。この度当選された新議員に期待致します。

経験を生かし即戦力になります 竹野入恒夫

一般質問では、2期8年で、31回行い、住民の生の声を村政に提案をして、住民の声を村政に取り入れて頂き、住みよい村づくりのために頑張ってきました。3期目は、

初心に返り、村民の目線で、住民と村政とのパイプ役として、経験を生かし、即戦力になり、住民から信頼される議員を目指します。



しかし、一番残念なことは、住吉議員・村瀬副

議長と大切な同志を二人も失い残念の一言に尽きます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

毅然とした態度と 言動を 百瀬厚美



村民の皆様は12年間支えて頂き深く感謝致します。いつも新鮮な刺激を受けた議員生活、多くの人々と接し大切な勉強をさせて貰い成長できました。村の自治、自立を受けて立つ新議員さんに気づいた点一つ。議員は常に毅然とした態度と言動を、それと日々の勉強だと感ずる。人生での豊富な体験や知識を元に、思考を熟成させて一般質問に臨んで欲しい。

話は何事も要点的に短めがよさそう。新議員さんのご活躍と村の更なる発展に期待します。役場職員の方々が難うございました。

協働の村づくりに積極的に 取り組んで 清沢善人



私は2期目の前半は合併問題特別委員長として頑張りました。合併を申し込まれた松本市へ斉藤村長、原議長と共に市役所へ出向いた事が思い出されます。唯自立を選

択した以上これからは正念場です、良くも悪くするのにも新しく選ばれた議員の皆さんにかかっています。後半は議会運営委員長として議会のスムーズな運営に努力してまいりました。新議員の皆さんにお願したい事は官

から民への時代率先して協働の村づくりに取り組んで頂きたい。

林業政策と課外活動を 上條智佐雄

最初から一期の予定で

全力をかけた。村民の代表として、欠点だらけをどうカバーするか」が4年間の課題でもあった。山を大切に「林業政策を中心に取り組んだ。課外活動は子どもの育成の一環として、子どもと共に間伐や植林の体験。スカイランドきよみずも含め、きのこのコマ打ちで「足りない分」を補ったつもり。



自立、協働の村づくりに向け、新議員像は心技体の充実。村民の先頭に立ち、模範を示す。時にはボランティア活動など汗を流して欲しい。

自立の村決定 唐沢完治

合併に逆らった為ではないだろうが、この間に地方交付税は22億円も減らされて、村民への各種負担増加の決定に心くるしい思いでした。しかし自立する事で村内のきよみずが強まり、自治の大切さ」を理解してもらえ

事を期待しています。

議員活動としては、明治屋線の改良、財政問題文化財対策、その他に取り組みましたが、大きな成果もなく「議員報酬のもらいすぎ」と思っています。又この4年間に2人もの同僚議員を失い残念でした。ご冥福をお祈りいたします。



4年間をふりかえって
大池俊子

4年間をふりかえって 大池俊子



市町村合併問題から始まった2期目、シンポジウム・講演会・58人合併問題研究委員会・地区懇談会を開催し、H14年9月には斉藤村長が、H15年には村が「村存続」を決め、幾多の先人が苦難を乗り越え築き上げた山形村を守る事ができた。「墓地公園・畑灌漑施設・鉢盛中への歩道整備・サンクスBB」などの大型事業が完成に近づいている。小学校も6年までの30人学級、障害児の受入れなど、心豊かに暮らせ

る村・福祉の充実した村」へ向けて、更に大きく進めたいと思う。

自立、協働の取組みに 意義感 高山秀子

○住民自治についての意識が改めて試され、自立協働と実際上の問題としても取り組み始めた特別な4年間であった。この



歴史的瞬间ともいえる期間に関わった事は議員として意義ある経験だった。

○「金がない」の一言で基本的な人権まで否定されかねない時代様相の下で泣く人を出してはならない。地方自治体の本来の仕事忘れてはならない。憲法無視の国政は許せない。そんな思いを強くした4年間でもあった。暮らして憲法を生かすそんな自治体作りに取り組みたい。

「初心忘れず」の心で 上條重幸

2期8年、村民の皆様より温かなご指導を賜り

お礼申し上げます。

議会は4年前、合併が、自立か、合併問題の議論の中でスタートだった一人でも多くの村民の声を知らうと百10人にアンケート調査をお願いした。



多くの人の村を想う気持ちと村作りについて

意見を寄せてもらい心を打たれた。今年自立4年目の年を迎え全村民、知恵・ずく・てま、を出し合い協働の村作りスタートの年にしたいものだ。再び議席を与えてもらえました。初心忘れずの心で住みよい村づくりに取り組みます。

議員各位の協力に感謝 上條清文

中途の議員の立候補に対して村内の反論が多く苦勞したが、それに対して新人議員の取るべき行動は余りにも少なく、



当時考えた内容は実行出来なかつたのは本首である。

ある。

議会の任期中2人の議員が不幸になつたことは1番残念に思う。でも前回の仲間の議員が半数残つていて何かと助けていただいたことは嬉しかった。一般質問は3回行ったが、概ね無難だと思つた。前議員当時、村長に

助役問題を盛んに質問したことを思い、現議員の発言は考え深い。

温かいご支援に感謝 竹野ふみ江

40年ぶりの無所属女性議員として、議会に送り出していただき、無我夢中の4年間であった。早々の市町村合併問題、



14年9月定例会で、村長「山形村存続」を表

明、議会も研究委員会を作り、地区懇談会、58人委員会等、合併問題で明けた1年間だった。議会も15年に村自立を決定。初めての一般質問、女性の視点で、女性ならではの、身近な質問ができたのではないかと思う。少子化に歯止めを、子育て

支援の充実を望みます。地方自治の理想に向かつて。

安心して住める村づくりを 百瀬洪一郎

村民が豊かで健康で安心して住める村づくりのため、予算・契約・条例などの審議に4年間全力で取り組んできました。



山林、優良農地など環境保全、新エネルギー、など未来に向かつての

課題はたくさん残っております。村有林へ小学生の子どもとクヌギ、ナラの植林、鷹の窪公園への桜の植林など思い出があります。子どもや孫が大人になつた時も緑と空気が水の美しい村であつてほしいと願つております。自立を選んだ村、村民が協働して頑張ればきっと豊かな村になると思つた。

変化する行財政 百瀬 脩

村の財政状況は厳しさを増す中、経費の節減、

事業の見直し等などが優先課題となつた4年間でもあつたように思います。



このようなかでも、村民サービ

は最小限にとどめるべく、国の施策を、いかに地方に最良の方法で展開できるかが私の課題でもありました。政策も財政も変化する時代、村の発展を願ひ、村民と県国とのパイプ役として、今後も慎重に対応していきたい。

厳しい財政状況下での4年間 本木睦啓

2期8年、村民の皆様村当局に大変お世話になりました。2期目は副議長長の要職に、2年3か月



余り就任させていただけました。スタートか

ら、市町村合併の判断を議会に委ねられ、わが村の将来を決める大問題に直面した中で至らぬ点が多々ありましたが、曲がりなりにも務めることができました。厳しい財政

状況の中での4年間でしたが、大型事業は着実に進められました。人口増加に伴う混住化社会にどう対応するか、村の発展を願ひ新議員さんの活躍を祈念いたします。

合併問題からスタート 原 宏見

図らずも議長に推されなんとか職務を全うできましたことを感謝します。経済不況下で国債が繰発され、地方切り捨て施策が進められていました。



地方交付税を大幅に減額し、市

町村合併が推進されていきました。本村も結論を出す時期に今任期が始まりました。多くの村民意向は「自立」と判断、議会も自立を決めたことが最も印象に残っています。

議長会や組合議会で学んだことを次の議会に続いて参ります。



この「議会だより」も単独発行は最後となる。定数4減、12人の新議員がこの程誕生した。自立4年目。住民との“協働”も一層叫ばれる。新議員に望むこと、村の将来像など、3人から投稿をいただいた。

我が山形村も自立の道を歩み始め、早3年が過ぎようとしています。それぞれの立場で大変な苦労をされている関係者の皆さんに、改めて敬意を表します。



百瀬泰久 (下竹田)

近隣の市町村の現状を顧(かえり)みても、難問奇問も多く報じられ、合併しても地獄、しかも地獄”と言われた前村長の言葉の重みを改めて痛感しています。昨年は戦後60年の節目の年でした。血のじむ



ような努力の結果、日本は豊かさを手にいれました。と同時に、人間的な絆(きずな)というものを、どこかに置き去りにしてきてしま

自立を豊かさの糧に

してきました。いま、真の豊かさを築くために、財政的な問題のみならず、自治、分権のあり方も含め、地域作りの議論をさらに深める必要を感じます。

人任せ、無関心ではなくそこに参画して作り上げていくことです。きつと希望の持てる、明日が来ると信じています。

あと15年位たつと孫達が大人になる。団塊の世代の俺はその時70代な

ば、願わくば元気に生きていたい。その頃山形村はどうなっているか、想像してみる。今と同じ山形村か、松本市大字山形か、それともまったく別



倉科喜和 (下大池)

の住所になっているのか、おおいに興味がある。この春、長野県の市町村の数が3分の2になった。しばらくは落ち着くだろうが、そのうち第2段が始まると思う。現在は自立の道を選んだ。この判断は、基本的には

議会あの頃は休みます

国の手厚い財政支援があった旧合併特例法の適用下では県内最後の合併となる新「伊那市」が3月31日誕生した。『平成の大合併』により誕生した自治体は18市町村となり、県内の市町村数は平成15年8月時点での百20市町村(17市36町67村)から、81市町村(19市25町37村)へと大きく減つ

旬の味

た。合併によって、歴史的な市町村名がどんどん姿を消し、更級郡と安曇郡等の古い地名や歴史が消滅した。合併の大義名分のためとはいえ残念に思う。歴史があり、思い出深い議会だよりが、単独発行では第76号で幕を閉じる。12月議会での提案に応じて、早速庁内で検討して、公民館報は伝統も思い入れもあるので見送りになったが、広報・議会だよりを統合させる。

(竹野入 恒夫)

孫達が大人になるころ

賛成できる。国の借金が国民一人当たり6百万円を越え、更には県、村にも借金はある。当分我慢の時代が続くであろう。常に村の財布を確認し、将来の見通し、周辺市町村の状況を把握し、いつでも間違いない判断ができる態勢だけは、整えておく必要があると思う。俺も村民の一人として協働の意義を理解し、できることは進んでやりたいと思う。孫達のためにも。



上條法子 (中大池)

定数12人と条例改正案が可決されて、初めての議会議員選挙が3月26日に行われました。自立後の村財政を始め高齢化社会への介護福祉少子化対策、優良農地を守りながらの農業振興など、今当村には問題が山積しています。地区推薦は崩れた中で「健全な村づくり」を決定し、やる気充分の議員が選出されたと思います。村の現状を考えると、村民の関心が高まっている。選挙と言えたでしょう。新議員に望むことは、

人口増、12人の責任重く

農業立村の自然豊かな郷土に「住んでいて良かった」と次世代につなぐ、若者に希望ある村づくりを望みます。村民も「今私達に何が出来るか?」に知恵を出し合い対話ある村政に。人口も8千人を大きく超え、さらに増え続けている村に、12人と少なくなったことで、議員も責任を重く感ずるところでしょう。意識の向上も求められる時ですが、住民と行政の「協働」の活力ある村づくりにご期待いたします。